

2016年12月1日

第14回「博報教育フォーラム」開催 テーマ：「足もとにある宝もの。気づきは未来をひらく。」

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、「足もとにある宝もの。気づきは未来をひらく。」を総合テーマに、「第14回博報教育フォーラム」を開催いたしますので、お知らせいたします。

◆ 博報教育フォーラムとは

優れた教育実践には、広く他の教育現場で新たな価値を生み出すためのエッセンスが含まれています。このフォーラムは、「博報賞」ご受賞者の活動から、教育の新しい潮流となりうる旬のテーマと優れた教育実践の事例を選び、様々な立場の参加者が共に考えを深めて意見交換する場を提供することを通して、優れた教育実践を他の実践現場へ拡大・波及させることを目的に開催しています。

◆ テーマ

「足もとにある宝もの。気づきは未来をひらく。」

私たちが暮らす日常は、かけがえのないものです。

ふだんの「あたりまえ」の価値に気づくことで始まる学びがあります。

また、こうした「あたりまえ」が人によってさまざまであることを知ることも大切な学びです。

そして、「あたりまえ」の日常が途切れるような状況にあってもそれを前向きにとらえて乗り越えひらく未来があります。

足もとにある宝ものへの気づきから未来をひらく教育を、ご参加の皆様とご一緒に考えます。

◆ 日時と会場

日 時	2017年2月25日(土) 12時30分～18時30分
会 場	日本工業俱楽部(東京都千代田区丸の内1-4-6)
主 催	公益財団法人 博報児童教育振興会
後 援	文部科学省
参 加 費	無料
参加人数	200名

◆ プログラム

➤ 事例発表

- 栃木県 特定非営利活動法人障がい者福祉推進ネット ちえのわ
「障がいを知る、共生社会を拓く～障がい理解啓発活動を通して～」
- 京都府 京都市立高倉小学校
「地域の魅力と子どもの可能性を最大限に引き出す学びの創造」
- 福島県 飯舘村立飯舘中学校
「これまでよりこれから。そして、ここから。ふるさとの未来を拓く生徒の育成」

➤ 基調講演

慶應義塾大学 教授 鹿毛雅治先生

➤ 発表者ポスターセッション

➤ パネルディスカッション・グループセッション

コーディネーター 元文教大学 教授 嶋野道弘先生
パネリスト 慶應義塾大学 教授 鹿毛雅治先生
事例発表者代表 3名

◆ 申し込み方法 当財団 HP「お問い合わせページ」より、Eメール送信

申し込み用紙に記入し、FAX または郵送

◆ 申し込み締め切り 2017年1月31日必着 *定員に達し次第締め切り

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年、株式会社博報堂の創業75周年記念事業として設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011年4月に公益財団法人として認定され、現在に至ります。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェローシップ」「世界のこども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる4つの事業を行なっています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhofoundation.or.jp/> ◇

■本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp